

# 建設技術審査証明書



技術名称：SSL永久アンカー工法（拡孔支圧型永久アンカー工法）

技審証第 0501 号

## （開発の趣旨）

拡孔支圧型永久アンカー工法として、メカニカル方式とパッカー方式を採用し、材料的に確実な防錆対応を施すとともに、安定した支圧方式構造を開発して、アンカーの耐久を得る。

## （開発目標）

- (1) アンカーを構成する材料が長期にわたり耐久性を保持できること。
- (2) 構造的にアンカーが長期にわたり耐久性を保持できること。

一般財団法人 砂防・地すべり技術センターの建設技術審査証明事業（砂防技術）実施要領に基づき、依頼のあったSSL永久アンカー工法（拡孔支圧型永久アンカー工法）の技術内容について、下記の通り証明する。

平成 17 年 1 月 5 日  
更新 平成 22 年 1 月 5 日  
更新 平成 27 年 1 月 5 日  
更新 令和 2 年 1 月 5 日

建設技術審査証明事業（砂防技術）実施機関  
一般財団法人 砂防・地すべり技術センター

理事長

南 哲行

## 記

### 1. 審査証明の結果

上記開発の趣旨、開発目標に照らして審査した結果、本技術は以下のとおりであった。

#### (1) 材料性能による耐久性

支圧体については、メカニカル方式（SSL-M型）では、ダクタイル鋳鉄鋼を使用しており、施工時にこれがグラウト中に設置されることになり、長期にわたり耐久性を保持できると認められる。

また、パッカー方式（SSL-P型）では、テンドンは、支圧体の中央部では、メッキされた補強鋼管内に設置され、メッキされた固定金具と結ばれ、防錆剤の入った固定金具により保護されているので、長期にわたり耐久性を保持できると認められる。

次に自由長部では、メカニカル方式、パッカー方式とも、テンドンはシースおよびグラウトで、また頭部では、頭部シース、防錆キャップおよび防錆剤で保護されており、長期にわたり耐久性を保持できると認められる。

#### (2) 構造性能（支圧方式）の耐久性

メカニカル方式（SSL-M型）では、支圧体はスライド拡径方式であり、長期にわたり支圧が保持できると認められる。パッカー方式（SSL-P型）では、グラウトを圧入した支圧体により、長期にわたり支圧が保持できると認められる。

### 2. 審査証明の前提

- (1) 本工法の材料製作は適正な品質管理のもとに行なわれるものとする。
- (2) 本工法の計画、設計、施工および維持は「SSL永久アンカー工法（拡孔支圧型永久アンカー工法）設計施工指針（平成26年12月）」に基づき適正な管理のもとに行なわれるものとする。

### 3. 審査証明の範囲

アンカーの材料性能、構造性能の範囲とし、地盤に関わる特性や、永久アンカーの使用用途・目的は除く。

### 4. 審査証明の詳細（別 添）

### 5. 審査証明の有効期限 令和 7 年 1 月 4 日

### 6. 審査証明の依頼者

国土防災技術株式会社

所在地

東京都港区虎ノ門3丁目18番5号

サンスイ・ナビコ株式会社

所在地

東京都中央区日本橋茅場町2丁目7番1号